事業計画書

【事業計画書の記入方法について】

* 赤字の注意書きに沿ってご記入ください。
* 提出時には**赤字の注意書きは削除**してください。
* 全体で**20頁以内**にまとめてください。
* フォントは自由ですが、サイズについては**10.5ポイント以上**でご記入ください。
* 必要に応じて図や表、写真などを用いても構いません。
1. 申請事業基本情報
2. 申請テーマ（県）

|  |  |
| --- | --- |
| 申請テーマ（県） | 申請テーマを残して、他のテーマを削除してください。申請できるのは1テーマのみです。* 鳥取県　人口減少や高齢化に伴う働き手や地域の担い手の減少等、地域が抱える様々な課題を、分野・組織横断的な取組で解決し、持続可能なコミュニティ形成を図る。
* 島根県　ITを活用した地域活性化や課題解決の仕組みや拠点づくり
* 岡山県　拠点の整備を通じた困難を抱える子ども・若者の居場所と就労支援の仕組みづくり
* 広島県　中山間地域を担う生業づくり
* 山口県　地域に関わる若者や移住者、地域住民が暮らし続けられるコミュニティづくり
* 香川県　空き家を活用した生業づくりとそれを支える仕組みづくり
 |

1. 申請団体名・事業名

|  |  |
| --- | --- |
| 申請団体名 | ふりがな |
| 法人格も含め、正式名称を記入してください。 |
| コンソーシアムの有無 | コンソーシアムによる申請の場合は、こちらに「有」と記入してください。 |
| 申請事業名（主題） | 申請する事業の名称を記入してください。 |
| 申請事業名（副題） | 申請する事業の副題があれば記入してください。 |

1. 優先的に解決すべき社会の諸課題

　該当する諸課題にチェックを入れてください。

＜JANPIAが示す3つの領域と優先すべき社会の諸課題＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １）子ども及び若者の支援に係わる活動 | ① 経済的困窮など､家庭内に課題を抱える子どもの支援 |  |
| ② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援 |  |
| ③ 社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援 |  |
| 2)日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動 | ④ 働くことが困難な人への支援 |  |
| ⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援 |  |
| 3)地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動 | ⑥ 地域の働く場づくりの支援 |  |
| ⑦ 安心･安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援 |  |

1. その他優先的に解決すべき社会の諸課題

|  |
| --- |
| 上記（3）以外の諸課題に取り組む場合は、こちらに簡潔にご記入ください。 |

1. 時期・地域・対象

|  |  |
| --- | --- |
| 実施期間 | 契約締結月（2022年4月予定）以降が開始月となります。完了月は最長で2025年2月までとなります。（開始月）　　　　年　　月～（完了月）　　　　年　　月 |
| 対象地域 | 活動予定地域（県市町等）をご記入ください。中国地方の複数の行政区を跨ぐ場合はすべてご記入ください。市町の中でも特に地域が限定される場合は地区名までご記入ください。 |
| 直接対象グループ | 申請事業において直接対象とする人々や集団をご記入ください。 |
| 上記の人数 | 上記の想定人数をご記入ください。 |
| 間接的対象グループ | 申請事業において間接的に便益を受ける個人、グループ、組織をご記入ください。 |
| 上記の人数 | 上記の想定人数をご記入ください。 |

1. 助成申請額

|  |
| --- |
| 　円　※資金計画書と一致させてください。 |

1. 事業の概要

　本事業の概要を簡潔にご記入ください。（目安：1～2頁以内）

　『解決する課題』、『目指すべき姿』、『実施する活動』、『出口戦略（どのように活動を持続していくか）』が把握できるように端的にご記入ください。

　ロジックモデル等の図を用いても構いません。

1. 事業の背景・課題
2. 本事業において取り組む社会課題

　直接対象グループはどのような問題・課題を抱えており、それはどのような要因・背景によるものだと考えられますか。

　客観的なデータ等を踏まえ、現状を分かり易くご記入ください。

　グラフやイラスト・図などを用いでも構いません。

1. 課題に対する行政等による既存の取組み状況

　前頁で示した課題に対して、行政や他の民間組織（企業・NPO等）はどのような対策や取り組みを行い、その結果はどのようになっているかご記入ください。

　グラフやイラスト・図などを用いでも構いません。

1. 休眠預金等交付金に係わる資金の活用により本事業を実施する意義

　（1）本事業において取り組む社会課題および（2）課題に対する行政等による既存の取組み状況を踏まえ、本事業を休眠預金制度で取り組もうとする意義をご記入ください。

　なぜこの対象地域において実行団体（本事業の申請団体）がこの事業に取り組む必要があるのかを、地域や分野との関係性を踏まえてご記入ください。

　グラフやイラスト・図などを用いでも構いません。

1. 事業設計
2. 中長期アウトカム

　将来的に達成したい成果（直接対象グループや間接対象グループ、申請団体等がどのような状態になるか）をご記入ください。

　中長期アウトカムは3～10年後程度を示すことが一般的ですが、ここでの中長期アウトカムの達成時期については特に指定はありません。

　グラフやイラスト・図などを用いでも構いません。

1. 短期アウトカム

　本事業終了時に目指す成果（直接対象グループや間接対象グループ、申請団体等がどのような状態になるか）を下記表にご記入ください。

　ここでの短期アウトカム達成時期は本事業終了時とします。

　表は1行になっていますが、必要に応じて適時、追加・削除して構いません。

　表を削除して書きやすいようにご記入いただいて構いません。ただし、『アウトカム指標』『初期値/初期状態』『目標値/目標状態』は必ずご記入ください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 短期アウトカム | アウトカム指標 | 初期値/初期状態 | 目標値/目標状態 |
| 本事業終了時に実行団体の事業実施によって事業対象グループ等がどのような状態になっているかをご記入ください。 | アウトカム指標は、アウトカムを何で図るのかを明示するものです。指標の項目数の設定は任意ですが、定量的指標、定性的指標の複数を設定することを推奨します。 | 初期値/初期状態とは事業実施前のアウトカム指標の状況を示した値です。現時点で分かる範囲で各アウトカム指標の初期値を記載ください。 | 目標値/目標状態とは事業終了時に達成したい値です。各アウトカム指標の目標値を記載ください。 |

1. アウトプット

　本事業におけるアウトプットについて、下記の表にご記入ください。

　（2）短期アウトカムと対応するように、必要に応じて表を増やしてご記入ください。

　表は1行になっていますが、必要に応じて適時、追加・削除して構いません。

　表を削除して書きやすいようにご記入いただいて構いません。ただし、『アウトプット指標』『初期値/初期状態』『目標値/目標状態』は必ずご記入ください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| アウトプット | アウトプット指標 | 初期値/初期状態 | 目標値/目標状態 |
| 短期アウトカムを達成するために必要なアウトプットを記載してください。場合によっては複数のアウトプットが生じます。 | アウトプット指標は、各アウトプットに対して定量的指標、定性的指標で測るのかを明示するものです。アウトプットに対する活動によって生み出される直接の結果（数字や記述で表せる状態）を記載してください。 | 初期値/初期状態とは事業実施前のアウトプット指標の状況を示した値です。各アウトプット指標の初期値/初期状態を記載ください。 | 目標値/目標状態とは事業終了時により達成したい値です。各アウトプット指標の目標値/目標状態を記載ください。 |

1. アウトプットに対する活動

　（3）アウトプットに記入したアウトプットを達成するために実施する具体的な活動（本事業において実施する活動）をご記入ください。

　グラフやイラスト・図などを用いでも構いません。

1. 活動のスケジュール

　（4）活動に記入した活動のスケジュールをご記入ください。

　グラフやイラスト・図などを用いでも構いません。

1. 助成期間終了後の展望（持続可能性）

　本事業終了後、どのように事業を継続していくのかをご記入ください。

　グラフやイラスト・図などを用いでも構いません。

1. 実施体制

　本事業を実施する体制（内部人材、外部人材を含む）、組織図をご記入ください。

　体制には以下を含めてご記入ください。

 ・事業体制と従事者の役割

 ・進捗管理の体制

 ・事業実施のリスクとその管理

　内部人材とは実行団体に属する人材のことです。

　外部人材とは実行団体以外の人材や組織で、事業実施の協働パートナーや専門家等のことです。

　人数や役割が分かるようにご記入ください。

　グラフやイラスト・図などを用いでも構いません。

1. 社会的インパクト評価

　社会的インパクト評価の実施体制および評価の方法等についてご記入ください。

　社会的インパクト評価についてはJANPIAが示す資金分配団体・実行団体に向けての評価指標（以下のURL）をご参考ください。

 https://www.janpia.or.jp/hyouka/

1. 広報戦略および連携・対話戦略
2. 広報戦略

　本事業で取り組む課題や活動を広く社会に伝えるために、どのように広報を実施するかご記入ください。

　グラフやイラスト・図などを用いでも構いません。

1. 連携・対話戦略

　本事業で取り組む課題の解決に向けて、行政や企業、他のNPO等との連携・対話をどのように実施するかご記入ください。

　グラフやイラスト・図などを用いでも構いません。